

工事中の消防計画届出書

年 月 日

島尻消防組合消防本部消防長 殿

防火管理者

住 所

氏 名

電 話

防 火 対 象 物		
所 在 地 ・ 名 称		
工 事 種 別		
工 事 期 間		年 月 日 から 年 月 日
工 事 概 要		
工 事 監 理	工 事 監 理 者 住 所 氏 名	電話
	現 場 監 督 責 任 者 住 所 氏 名	電話
工 事 施 工	工 事 施 工 者 住 所 氏 名	電話
	現 場 監 督 責 任 者 住 所 氏 名	電話
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 消防計画書には避難経路図を添付すること。
 3 ※印の欄は、記入しないこと。

(現場名)

の消防計画

第1 工事計画及び施工

1 工事の概要

2 工事の日程

年 月 日 から

年 月 日 まで

3 工事の範囲

4 機能に支障の生じる消防用設備等

無 ・ 有

別紙

5 機能に支障の生じる避難施設等

無 ・ 有

別紙

6 火気を使用する設備器具（以下「下記設備器具」という。）等の使用等

無 ・ 有

別紙

7 危険物を取り扱う施業等

無 ・ 有

別紙

8 連絡先

(会社名)

(担当者)

(所在地)

(連絡先)

9 緊急連絡先

(会社名)

(担当者)

(所在地)

(連絡先)

10 その他

第2 工事中の防火管理体制

1 出火防止対策

(1) 日常の火災予防

- (ア) 火災予防組織を別表1に定め、それぞれの任務に従って日常の火災予防を行う。
- (イ) 担当者は「日常の自主検査チェック表」を用いて担当区域内の点検を行う。
- (ウ) 自主検査の結果に異常が認められたときは、直ちに責任者へ報告し対処する。
- (エ) その他 _____

(2) 放火防止対策

- (ア) 建物の外周部及び階段等には、可燃性の工事用資材、梱包材、廃材等は置かないようにする。やむを得ず置く場合には、整理整頓を徹底し難燃性シート等で被うなどして管理をする。
- (イ) 担当者は毎日作業終了後、必ず施錠の確認をする。
- (ウ) 工事関係者以外の者の工事部分等への出入りを原則禁止とし、みだりに人の出入りをしないようにする。
- (エ) その他 _____

(3) 喫煙の管理

- (ア) 喫煙をする場合は、喫煙所を設置し、その場所以外での喫煙を禁止とする。
- (イ) 喫煙所には、「喫煙所」と表示した標識を設置する。
- (ウ) 担当者は、毎日作業終了後に吸い殻を集め、消火を確認したのち処理を行う。
- (エ) その他 _____

(4) 延焼拡大の防止

- (ア) 工事作業部分の周辺には、延焼媒体となる可燃物を放置しない。
- (イ) 作業のため必要がある場合を除き、防火戸等は努めて閉鎖する。
- (ウ) その他 _____

2 相互連絡体制等

- (1) 防火管理者は、火災予防上必要な事項について、必要に応じて工事責任者等に指導、監督を行う。
- (2) 防火管理者は、工事関係者等と工事の開始前に十分な協議を行う。
- (3) 工事責任者は、工事の開始・終了報告、溶接・溶断作業の事前報告、危険物品の持ち込み又は使用の事前報告を防火管理者に行う。
- (4) 工事部分内又は使用している部分から火災が発生した場合は、相互連絡体制を図る。
- (5) その他 _____

4 自衛消防について

組織の編成

※この組織編成表は、現場事務所等の見やすい場所に掲示する。

各係及び係員の指定は、工事現場の規模、工事人の数に応じて具体的に分担し、自衛消防活動については、工事人に配布する「防火管理マニュアル」により周知徹底する。

5 消防機関との連絡

(1) 届出事項

種 別	届 出 等 の 時 期

(2) 連絡事項

6 避難経路

(1) 工事部分等における避難経路図を作成し、掲示する。

(2) 避難経路には、資機材等の物品を置かず経路を確保する。

(3) その他 _____

7 防火区画

(1) 防火区画については、別添 _____ の図面のとおりとする。

(2) 防火管理者は、防火区画に異常がないかを確認し、破損等を発見した場合は、直ちに改修する。

(3) その他 _____

第3 工事期間中の工事人への教育・訓練の実施及び工事中の消防計画の周知

1 防災教育

(1) 防災教育の実施期間等

防災教育の実施時期・実施責任者・実施対象者・実施回数は下表のとおりとする。

			実施責任者		
対象者	実施時期	実施回数			

(2) 防災教育の内容

対 象 者	実 施 内 容
	1 工事中の消防計画について 2 遵守事項の徹底について (1) 火気管理、喫煙管理 (2) 避難施設等の維持管理 (3) 危険物品等の管理 3 災害発生時の対応要領について
	1 工事中の消防計画について 2 各自の任務分担と責任範囲について 3 日常の火災予防の徹底について 4 自主検査チェック表による自主検査について 5 災害発生時における工事部分と使用している部分の連絡体制の徹底について

(3) その他 _____

2 訓練

(1) 訓練種別及び実施時期等

訓練種別	実施時期 又は 実施回数	参加者	訓練内容
消火訓練			・ 消火器の取扱い ・ ・
通報訓練			・ 119番通報・館内連絡要領 ・ ・
避難訓練			・ 工事部分の避難経路の確認 ・ 避難誘導要領 ・
総合訓練			・ 工事部分と使用部分の連携活動 ・ ・

(2) その他 _____

3 工事中の消防計画の周知に関すること

- (1) 防火管理者は、前期の防災教育及び訓練を通して、全従業員、工事人に対して、工事中の消防計画を周知徹底する。
- (2) 全工事人に「防火管理マニュアル」を配付し、消防計画に定める遵守事項について徹底する。
- (3) その他 _____